

分担金・拠出金の名称	経済協力開発機構金融活動作業部会(FATF)分担金	評価	B
拠出先の国際機関名	経済協力開発機構金融活動作業部会(FATF)		
国際機関の概要	金融活動作業部会 (Financial Action Task Force:FATF) は、1989年のG7アルシュ・サミットにおいて、マネーロンダリング対策の推進を目的に招集された国際的な枠組み。その後、テロ資金供与対策を扱うこととなり、国際的なマネロン・テロ資金供与対策の推進を図る。最近では腐敗防止や大量破壊兵器の拡散防止にかかる金融上の対策についても一定の役割を果たしている。現在のメンバーはOECD加盟国を中心とした34か国・地域、2機関。		
拠出により我が国が期待する成果目標及び活動指標	達成状況		
1. (1) 成果目標: FATFへの拠出を通じて、我が国の重要外交開発課題の遂行を促進する。 活動指標: 国際的なマネロン・テロ資金供与対策における我が国の貢献	1989年にG7が主導して設立したFATFは、国際的なマネロン・テロ資金供与対策の最重要メカニズムとして、安定した国際金融環境及び組織犯罪・テロ活動の防止に貢献。G7の一員たる我が国には、諸外国の規範となるべく積極的な取組・貢献が期待されており、相応の分担金負担のみならず、議論やルール作りに積極的に関与し、我が国金融業界の健全かつ安全な活動にも大きく貢献。		
(2) 成果目標: 意思決定における我が国のプレゼンスや発言力の強化を図る 活動指標: FATFの意思決定における発言力と影響力を確保することにより、特にアジア太平洋地域における我が国のプレゼンス強化を図る	我が国は、FATFを創設したG7の一員として、FATFにおける主体的な地位を確保。また、年に3回開催されるFATF会合の機会には、特にアジア太平洋地域諸国のマネロン・テロ資金供与対策にかかる議論をリードし、同地域全体のマネロン・テロ資金供与対策に主体的な責任を果たし、我が国自身のプレゼンス強化や然るべき存在感を確保。		
(3) 成果目標: FATFへの分担金支払いに関して、FATFの適切な組織・財政マネジメントを求める 活動指標: 事務局経費の節約、不要な経費の見直し	例年6月のFATF会合で翌年度予算が審議され、我が国は分担金の増額に原則反対を主張するとともに、米国など立場を同じくする主要拠出国と連携し、事務局経費の節約や不要な経費の見直しを要請。我が国を中心とするこうした継続的な要請を受けて、FATF事務局は恒常的な経費節約に取り組むことを約束し、予算案の詳細説明に努めている。		
(4) 成果目標: 我が国人材の派遣を通じてFATFの活動の強化及び質の向上 活動指標: FATF事務局に対する邦人職員派遣の継続	FATF事務局には我が国政府職員を確保。FATF事務局の幹部(議長、事務局長クラス)ではないが、FATF議長を支える中核職員として我が国のプレゼンス確保に貢献。		
2. PDCAサイクルの確保	FATFにおいて、以下のとおりPDCAを確保。 ①計画(Plan): 我が国の関連政策、分担金に関する予算要求、②実施(Do): 分担金の支払い、③評価(Check): 年3回のFATF会合の機会を通じた定期的なFATFの活動・予算執行状況等の確認、④実施(Act): FATF予算を決定するFATF6月会合等において、分担金増加に反対しつつ必要に応じて改善策を提言。		
担当課・室名	総合外交政策局 国際安全・治安対策協力室		